

授業科目 相談援助各論 II

【担当教員名】 河野 聖夫		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程について学習する。特に社会福祉における相談援助実践の展開方法を、実践事例による考察を図りながら習得していく。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 相談援助の展開過程で用いられる専門技術についてを理解し、思考過程を習得する。 2 相談援助の実践過程を理解する。 3 ソーシャルワークの実践過程における展開方法を理解し習得する。 4 相談援助における記録の技術と活用方法を理解し習得する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション		相談援助各論1の振り返り		
2	ソーシャルワークの実践		配布資料 ジェネラリストソーシャルワークについて		
3	ソーシャルワークの実践過程と展開1		第5章 相談援助の展開の流れ		
4	ソーシャルワークの実践過程と展開2		第5章 ケース発見		
5	ソーシャルワークの実践過程と展開3		第5章 受理面接		
6	ソーシャルワークの実践過程と展開4		第5章 問題把握からニーズ確定まで 第8章契約の技術		
7	ソーシャルワークの実践過程と展開5		第5章 アセスメント 第9章アセスメントの技術		
8	ソーシャルワークの実践過程と展開6		第5章 支援計画 支援実施 第10章介入の技術		
9	ソーシャルワークの実践過程と展開7		第6章 第11章		
10	ソーシャルワークの実践過程と展開8		第6章 第11章		
11	ソーシャルワーク実践の発展的な取り組み		第6章 第14章		
12	アウトリーチの実践		第7章		
13	ソーシャルワークにおける記録の活用		第13章相談援助のための記録の技術		
14	ソーシャルワーク実践過程のまとめ		実践事例を通じての考察 振り返り		
15	全体のまとめ		総括 振り返り		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		7 相談援助の理論と方法 I	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	最新版
参考書		新 社会福祉援助の共通基盤 第2版 上・下	日本社会福祉士会編集	中央法規	2009・2,400円＋税
その他の資料		適宜配布する			
【評価方法】 定期試験 授業内課題への取り組み状況			【履修上の留意点】 予習と復習		